

輸入ダニ媒介脳炎ワクチン接種説明と同意書

私は、患者_____様に対し、実施する下記ワクチンについて、次のように説明しました。

目的：ダニ媒介脳炎とはダニ媒介性脳炎ウイルスに感染しているマダニに刺されることにより起こる急性脳炎です。ダニ媒介性脳炎ウイルスは日本脳炎ウイルスの仲間であくつかの種類があり、中央ヨーロッパからロシアに流行がみられます。

中央ヨーロッパ脳炎：潜伏期は1~2週間で、インフルエンザ様症状（発熱、頭痛、筋肉痛）の後、いったん症状が消え、その後けいれん、めまい、知覚異常など脳炎、髄膜炎の症状が起こる。死亡率は低いが、感覚障害などの後遺症が高頻度で残る。

ロシア春夏脳炎：潜伏期は1~2週間で、頭痛、発熱、消化器症状に続き、精神錯乱、昏睡、けいれん、麻痺など脳炎症状が起こる。死亡率は中央ヨーロッパ脳炎に比べて高い。

流行している地域の森林地帯に行くときには、長袖、長ズボンを着用する、DEET(ディート:虫の忌避剤として使用される薬品)の高い防虫剤を使用するなど、ダニに刺されないようにすることが大切です。予防法として、不活化ワクチンの接種もあります。ワクチンは中央ヨーロッパ脳炎、ロシア春夏脳炎どちらにも有効で、流行地に長期間渡航される方は接種をお勧めします。

使用ワクチン：FSME IMMUN® (Pfizer 社製)

接種方法：1歳以上で接種可、ダニの流行時期前の冬に初回2回の接種を行うことが望ましい

3回（初回1回、1~3ヶ月後(最短2週間)2回目、その5~12か月後に3回目）筋肉注射

1歳~15歳 1回0.25ml

16歳~成人 1回0.5ml

追加接種 最初の追加接種は3年以内、その後は5年毎

接種料金：1回12,000円（税別）

有効性：2回接種で80~99%、3回接種後に96~99%抗体陽性となる(50歳以上ではやや低い)

3回の接種で3年ぐらゐ有効とされている

副反応：発熱(初回に多い。通常1~2日。1~2歳児では3人に1人、3~15歳では10人に1人)

接種部位の発赤、腫脹や痛み、倦怠感

ネオマイシン、ゲンタマイシンにアレルギーのある方の接種には注意が必要

注意事項：輸入ワクチンのため、国内未承認です。副反応が生じた時は国の救済措置、補償が適応されません。輸入商社が提供する輸入ワクチン補償制度を利用できます。輸入ワクチン補償制度以外は当院では補償できません。

輸入ワクチン副作用被害救済補償制度について

輸入ワクチンによって重篤な副反応が起きた場合、補償金をお支払いする制度です。

制度の利用にあたり、裁判で輸入ワクチン接種による被害であることが認められる必要があります。

ご不明な点がありましたら予防接種センターの医師、看護師にお尋ねください。

年 月 日

同意取得医：だいでうクリニック 予防接種センター_____

だいでうクリニック院長 様

上記のとおり実施ワクチンの説明を受け、理解しましたので、その実施に同意します。

また同意書の控えを受け取りました。

年 月 日

本人署名：_____

代諾者署名：_____

(本人との関係：_____)